

見本

No

修士学位論文

論文題目

〇〇〇〇〇〇

〇〇〇〇〇〇

提出者

山形大学大学院理工学研究科

××××専攻

山形 太郎

提出年月日

平成26年2月△日

山形大学大学院理工学研究科

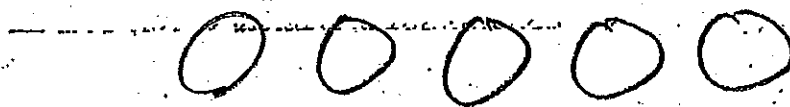
受付印の
ついたもの



指 導 教 員	
審 査 委 員	主 査 副 査 副 査
審 査 年 月 日	平 成 年 月 日

提 出 者 略 歴	
氏 名	やまがた たろう 山形 太郎 昭和△年△月△日生
本 籍	山形県
履 歴 事 項	
平成△年△月	山形大学工学部 ×××× 入学
平成△年△月	山形大学工学部 ×××× 卒業
平成△年△月	山形大学大学院理工学研究科博士前期課程 ×××× 入学
平成△年△月	山形大学大学院理工学研究科博士前期課程 ×××× 修了見込
平成 年 月	
平成 年 月	

※履歴事項は大学入学以降年次に従って記入すること。



山形大学大学院理工学研究科

XXXX

山形 太郎

第1章 緒論 1

1. 本研究の背景	1
2. 基本的な洗浄プロセス	2
3. 本研究の目的	5
4. 本論文の構成	6

第2章 既往の研究 7

第1節 機能水洗浄技術	7
1.1 機能水の定義	7
1.2 環境面からとらえた機能水洗浄の重要性	8
1.3 機能水洗浄の用例	9
1.3.1 RCA 洗浄	9
1.3.2 超音波洗浄	9
1.3.3 オゾン水洗浄	10
1.3.4 その他の機能水洗浄	11
第2節 乾燥技術	13
2.1 ウォーターマークとは	13
2.2 乾燥方法	16
2.2.1 スピン乾燥	16
2.2.2 IPA蒸気乾燥	17
2.2.3 マランゴニ乾燥	18
2.2.4 ロタゴニ乾燥	19
第3節 超純水製造技術	20

第3章 基板表面の機能水洗浄 23

第1節 はじめに	23
第2節 電解水についての既往の研究	24
2.1 電解水の定義	24
2.2 電解水の種類	26
2.2.1 有隔膜2室型電解槽で生成される電解水	26

* 申請書の記入例(裏面) *

あくまでも例ですので、各自自由に記入してもらって構いません。ただし、

どの業績がどの添付書類なのか

分かるように提出して下さい。

■特に優れた業績の要旨

1, 学位論文 『〇〇〇…』	
.....	
.....	
2, 学会発表 (国際・国内・支部)	
2-1, 〇〇〇.....	
2-2, △△△.....	
2-3, □□□.....	
3, 論文掲載 (国際誌・国内誌)	
3-1, 〇〇〇.....	
3-2, △△△.....	
3-3, □□□.....	
4, 受賞歴	
4-1, 〇〇〇.....	
4-2, △△△.....	
4-3, □□□.....	
5, 授業科目の成績	
6, 補助業務	
7, 社会貢献活動	
8, その他	



ACIS International Journal of Computer & Information Science

A Publication of the International Association for Computer & Information Science

September 2009

VOLUME 10

NUMBER 3

ISSN 1525-9293

- Mining Subspace Clusters from Distributed Data----- 1
Haiyun Bian and Raj Bhatnagar
- Risk Strategy Analysis in Distributed Software Outsourcing----- 11
Taro Yamada and Hanako Yonezawa
- Simplified Public Key Infrastructure and Service Relation Model for Designing a Trustworthy ONS----- 19
Huiqun Zhao, Jing Sun and Gongzhu Hu
- Model Convergence Frameworks for Mobile Embedded Software Development----- 28
Haeng-Kon Kim and Roger Y Lee

雑誌

The International Association for Computer & Information Science (ACIS)

www.acisinternational.org

acis@acisinternational.org

表紙・目次・内容

→ 該当するページ、名前を
マーカーでチェックする。

番号: 5-3

2009年(平成21年)秋 季

第70回応用物理学会学術講演会 講演予稿集

Extended Abstracts (The 70th Autumn Meeting, 2009);
The Japan Society of Applied Physics

No. 3

学会

- 3 光
Optics
- 4 量子エレクトロニクス
Quantum Electronics
- 5 光エレクトロニクス
Optoelectronics
- 12 有機分子・バイオエレクトロニクス
Organic Molecules and Bioelectronics
- 14 半導体B(探索的材料・物性・デバイス)
Semiconductors B (Exploratory Materials/
Physics/Devices)
- 合同セッションF:「カーボンナノチューブの基礎と応用」
Joint Session F: Physics and Applications of Carbon
Nanotubes

表紙・目次・内容

(ポスター等も)



期 日: 2009年9月8日(火)~9月11日(金)

会 場: 富山大学 五福キャンパス

該当するページ・名前を
マーカーでチェックする

5. 推薦関係書類の必要部数、書類の組み方及び提出について

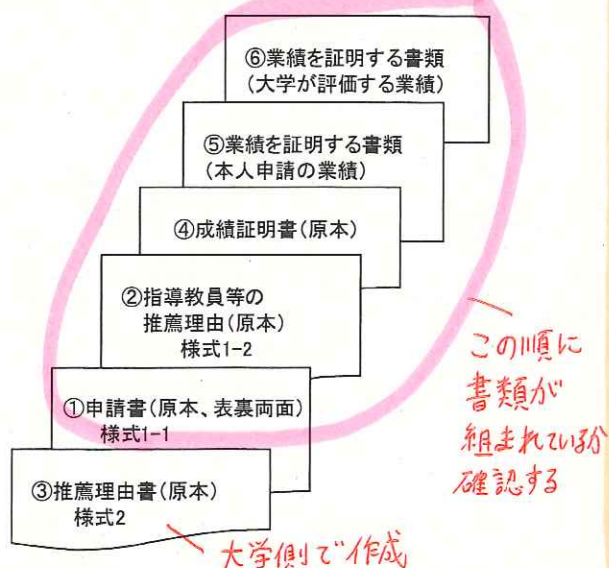
★推薦関係提出書類及び部数

	提出書類	部数
①	業績優秀者返還免除申請書(様式 1-1) 表裏両面	原本 1
②	指導教員等の推薦理由(様式 1-2)	原本 1
③	推薦理由書(様式 2)	原本 1
④	成績証明書 ※推薦理由にかかわらず必須	原本 1
⑤	本人申請の業績を証明する書類	各写し 1
⑥	大学が認めた業績を証明する書類 ※⑤と同一の書類は省略可	各写し 1
⑦	推薦名簿	2
⑧	業績優秀者返還免除申請書(様式 1-1) 表面のみ	写し 1

★書類の組み方

◇推薦書類

1. 各人の推薦関係書類一式(上記①～⑥)を下記順に纏める。



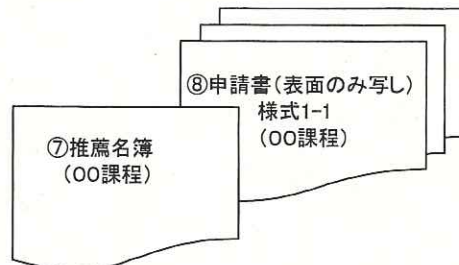
※「推薦理由書(様式 2)」が先頭ですので、間違いのないよう留意願います。

※上記一式をクリップ、ホッチキス等でまとめてください。(各書類ごとにホッチキス止めしないでください。)

2. 各束を各課程ごとに推薦名簿の推薦順位の順に束ねる。

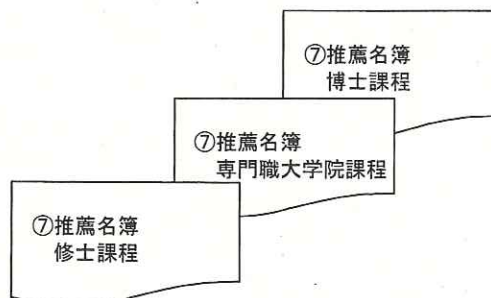
◇業績優秀者返還免除申請書(写し)

各課程ごとに、推薦名簿の推薦順位の順に各人の「⑧申請書(表面のみの写し)」をまとめ、上に「⑦推薦名簿」を添付する。



◇推薦名簿

全課程の「⑦推薦名簿」のみを纏める。



★書類の提出

簡易書留・宅配郵便など受領確認ができる送付方法により、本機構奨学金事業部返還免除課へ提出願います。提出期限は平成 26 年 4 月 25 日(金)必着です。